

(2) 周南市の水道事業について

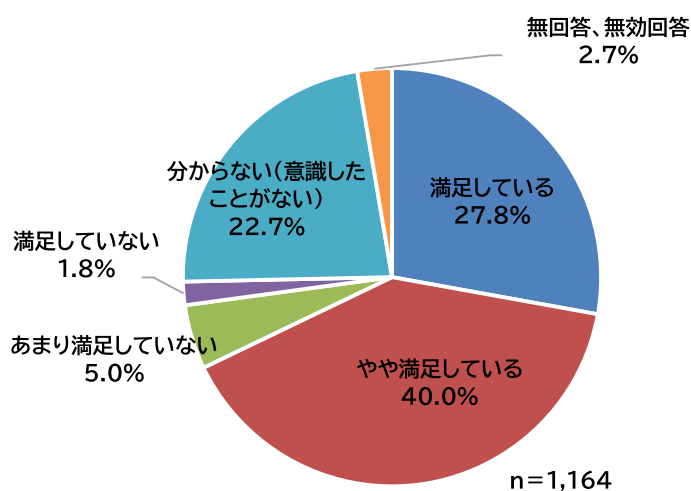
問6 あなたは、周南市の水道事業内容について、どのように感じていますか？
それぞれの項目について、あてはまる番号をお選びください。(○は各項目1つずつ)

① 安全な水をお届けするための水質管理

(水源、浄水場、じゃ口の水の水質管理の徹底など)

【単純集計】

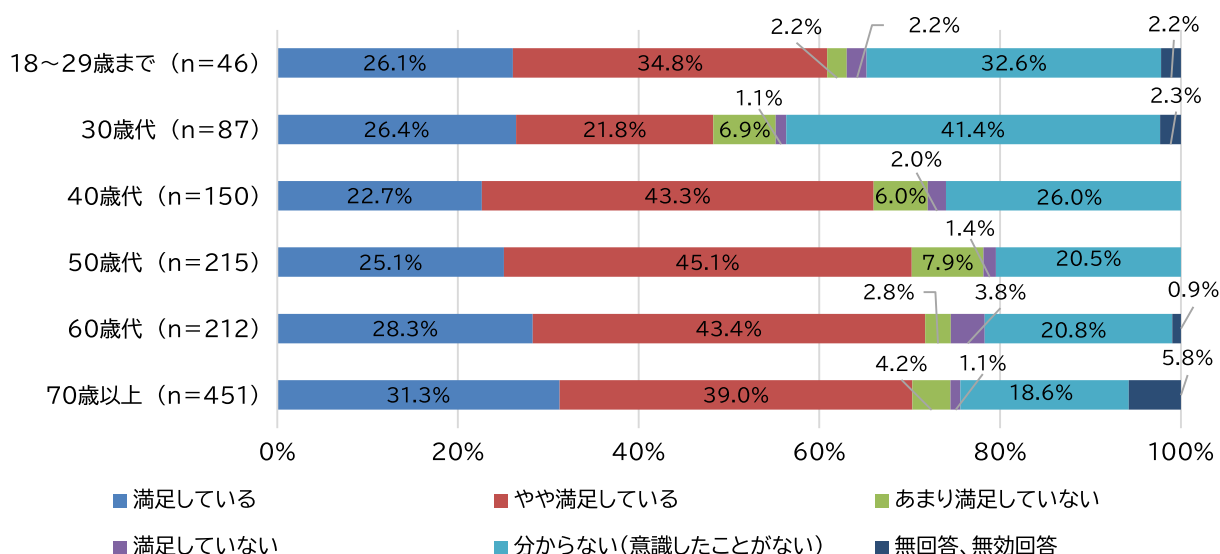
項 目	人数	割合
1. 満足している	324 人	27.8%
2. やや満足している	466 人	40.0%
3. あまり満足していない	58 人	5.0%
4. 満足していない	21 人	1.8%
5. 分からない(意識したことがない)	264 人	22.7%
無回答、無効回答	31 人	2.7%
計	1,164 人	100.0%



①の問いに対し、「やや満足している」の割合が 40.0% で最も多くなっています。
「満足している」、「やや満足している」をあわせた割合は、全体の 67.8% を占めており、水道水の水質管理について、一定の満足度が得られています。

【属性別集計】

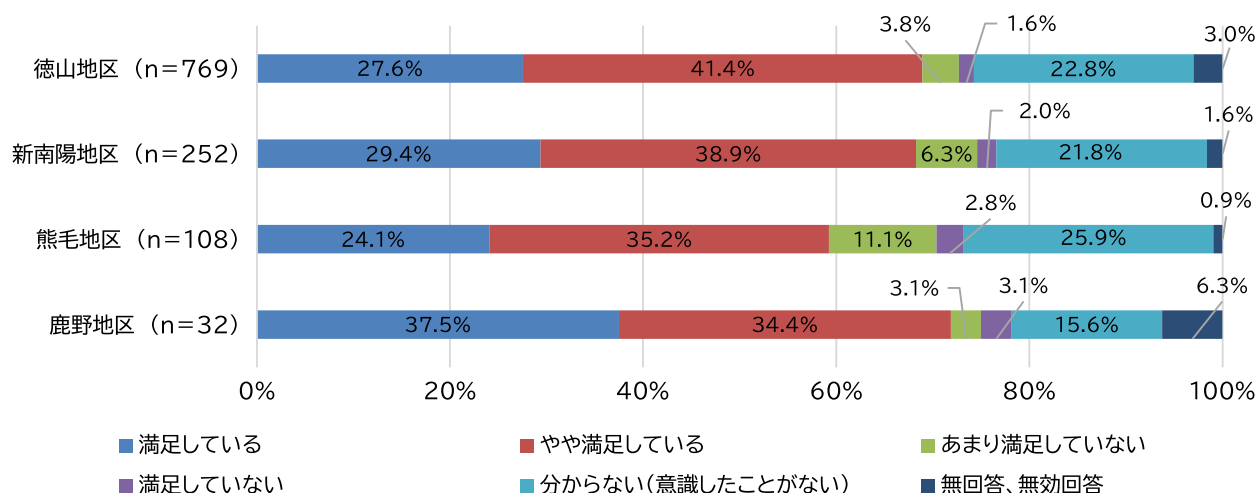
①.年齢別による比較（「安全な水をお届けするための水質管理」の満足度）



年齢別による比較では、「満足している」、「やや満足している」をあわせた割合は、60歳代が71.7%で最も多くなっており、概ね年齢層が上がるほど満足度が高くなる傾向がみられます。

一方、「あまり満足していない」、「満足していない」をあわせた割合は、全ての年齢層で10%未満となっています。

②.旧行政区域別による比較（「安全な水をお届けするための水質管理」の満足度）



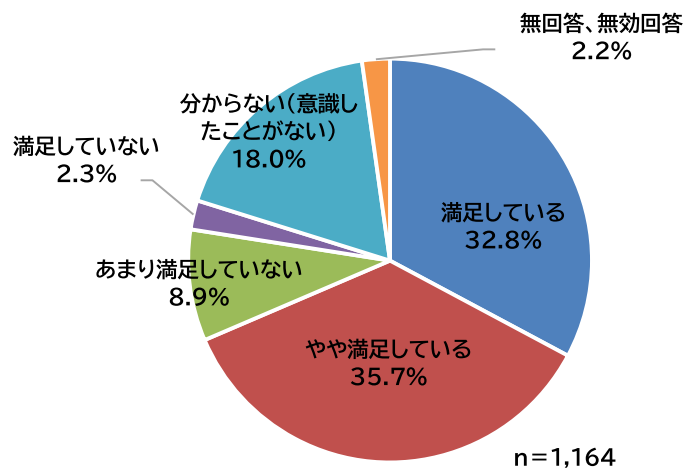
旧行政区域別による比較では、「満足している」、「やや満足している」をあわせた割合は、鹿野地区の71.9%が最も多く、次いで徳山地区、新南陽地区、熊毛地区の順になっています。

② 生活に必要な水を安定してお届けすること

(老朽化した水道管や、施設の修繕・改築など)

【単純集計】

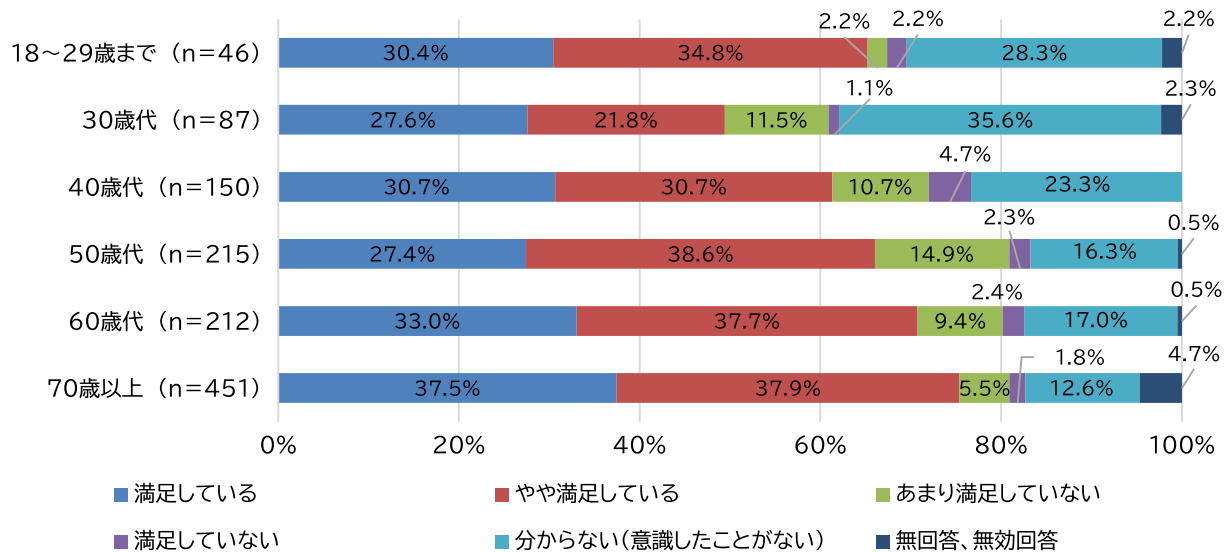
項 目	人数	割合
1. 満足している	382 人	32.8%
2. やや満足している	416 人	35.7%
3. あまり満足していない	104 人	8.9%
4. 満足していない	27 人	2.3%
5. 分からない(意識したことがない)	209 人	18.0%
無回答、無効回答	26 人	2.2%
計	1,164 人	99.9%



②の問いに対し、「やや満足している」の割合が 35.7% で最も多くなっています。
「満足している」、「やや満足している」をあわせた割合は、全体の 68.5% を占めており、
水道水の安定した供給について、一定の満足度が得られています。

【属性別集計】

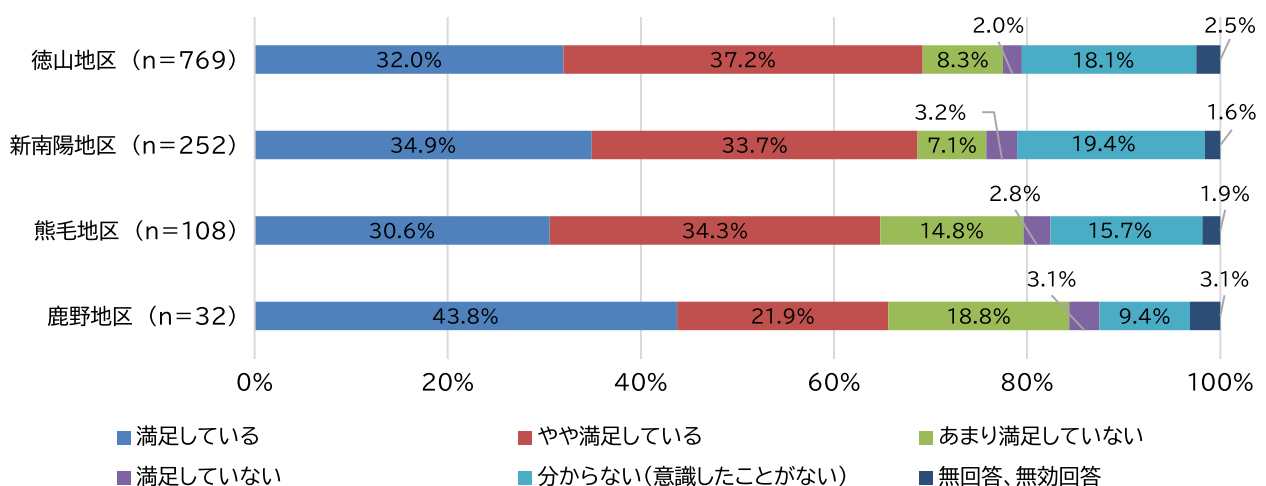
①.年齢別による比較（「生活に必要な水を安定してお届けすること」への満足度）



年齢別による比較では、「満足している」、「やや満足している」をあわせた割合は、70歳以上が75.4%で最も多くなっており、概ね年齢層が上がるほど満足度が高くなる傾向がみられます。

一方、「あまり満足していない」、「満足していない」をあわせた割合は、50歳代が17.2%で最も多くなっています。

②.旧行政区域別による比較（「生活に必要な水を安定してお届けすること」への満足度）



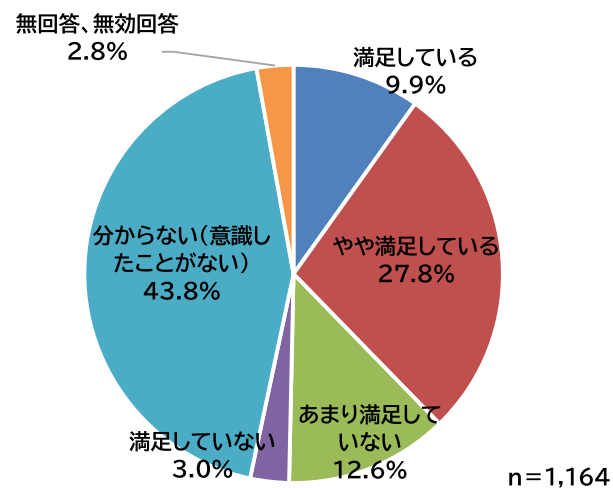
旧行政区域別による比較では、「満足している」、「やや満足している」をあわせた割合は、徳山地区の69.2%が最も多く、次いで新南陽地区、鹿野地区、熊毛地区の順になっています。

③ 地震等の災害に強い水道施設づくり

(水道施設の耐震化や、計画的な更新など)

【単純集計】

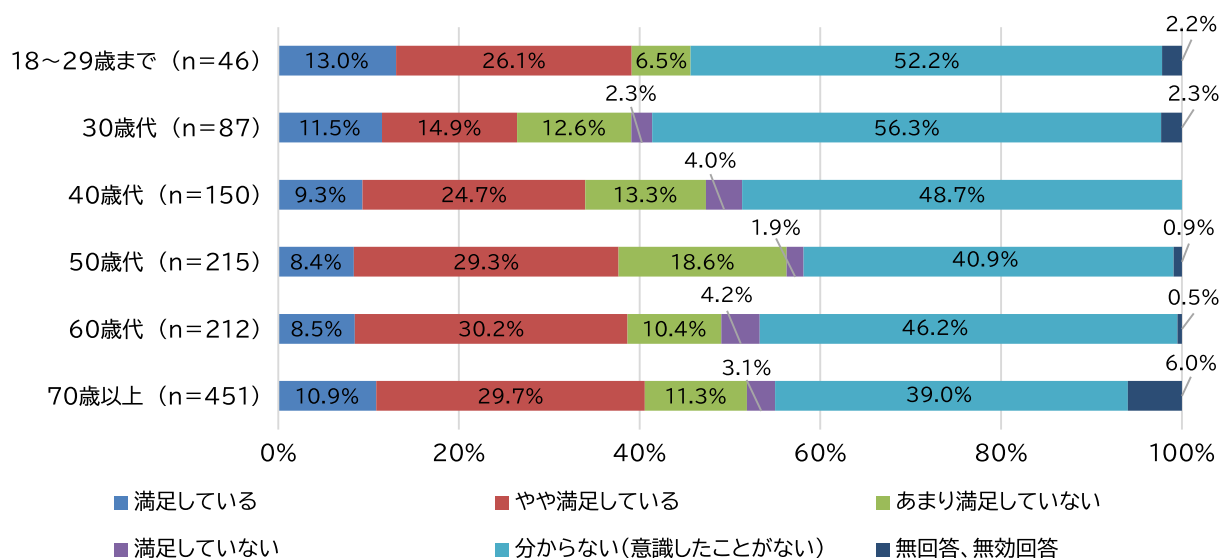
項 目	人数	割合
1. 満足している	115 人	9.9%
2. やや満足している	324 人	27.8%
3. あまり満足していない	147 人	12.6%
4. 満足していない	35 人	3.0%
5. 分からない(意識したことがない)	510 人	43.8%
無回答、無効回答	33 人	2.8%
計	1,164 人	99.9%



③の問いに対し、「満足している」、「やや満足している」をあわせた割合は、全体の37.7%を占めていますが、「分からない(意識したことがない)」の割合が43.8%で最も多くなっています。

【属性別集計】

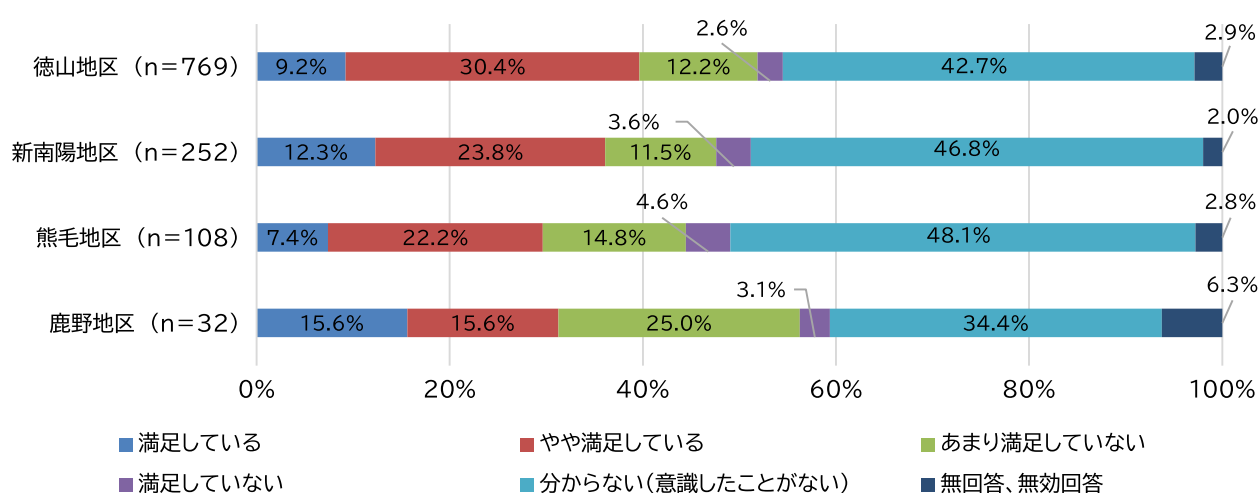
①.年齢別による比較（「地震等の災害に強い水道施設づくり」の満足度）



年齢別による比較では、「満足している」、「やや満足している」をあわせた割合は、70歳以上が40.6%で最も多くなっており、概ね年齢層が上がるほど満足度が高くなる傾向がみられます。

一方、「あまり満足していない」、「満足していない」をあわせた割合は、50歳代が20.5%で最も多くなっています。

②.旧行政区域別による比較（「地震等の災害に強い水道施設づくり」の満足度）



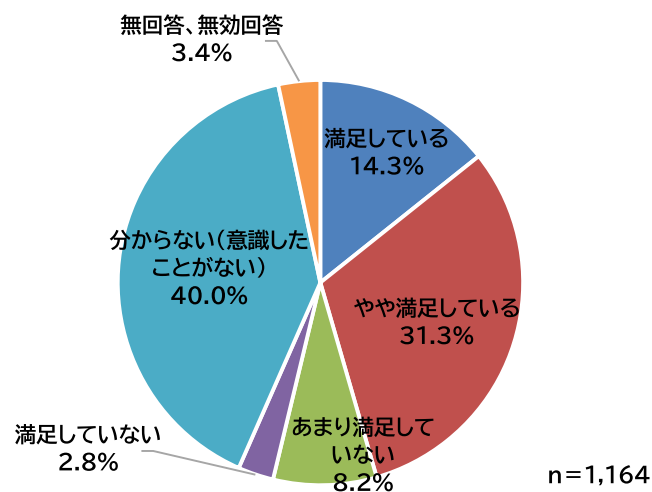
旧行政区域別による比較では、「満足している」、「やや満足している」をあわせた割合は、徳山地区の39.6%が最も多く、次いで新南陽地区、鹿野地区、熊毛地区の順になっています。

④ お客様サービス向上への取り組み

(窓口対応や、水漏れなどのトラブルに伴う修繕対応など)

【単純集計】

項 目	人数	割合
1. 満足している	166 人	14.3%
2. やや満足している	364 人	31.3%
3. あまり満足していない	96 人	8.2%
4. 満足していない	33 人	2.8%
5. 分からない(意識したことがない)	466 人	40.0%
無回答、無効回答	39 人	3.4%
計	1,164 人	100.0%

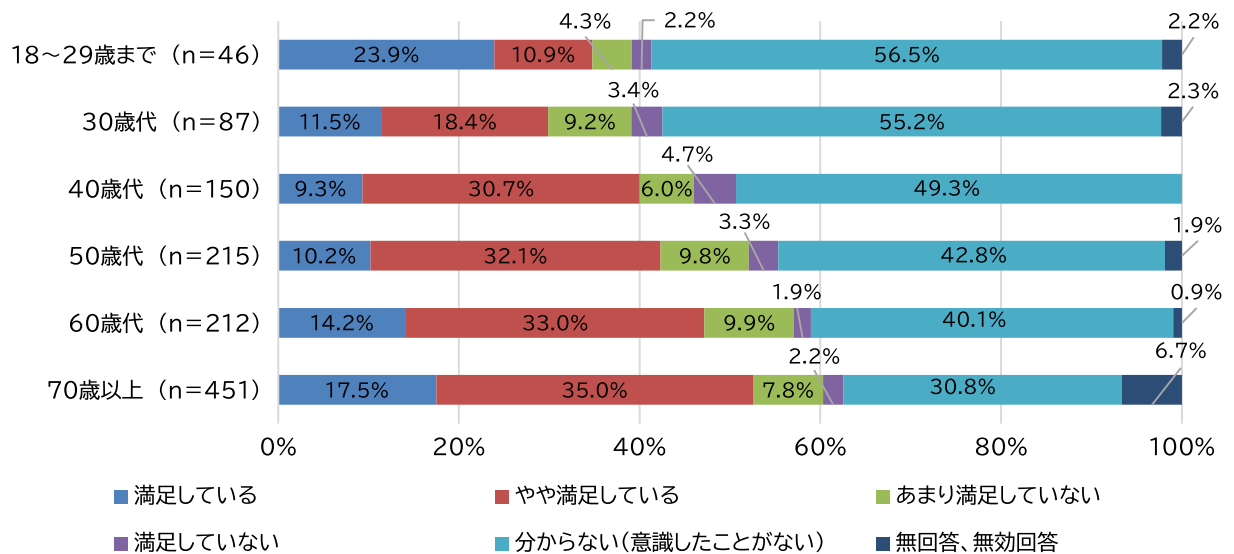


④の問いに対し、「分からない(意識したことがない)」の割合が 40.0% で最も多くなっています。

「満足している」、「やや満足している」をあわせた割合は、全体の 45.6% を占めており、お客様サービス向上への取り組みについて、一定の満足度が得られています。

【属性別集計】

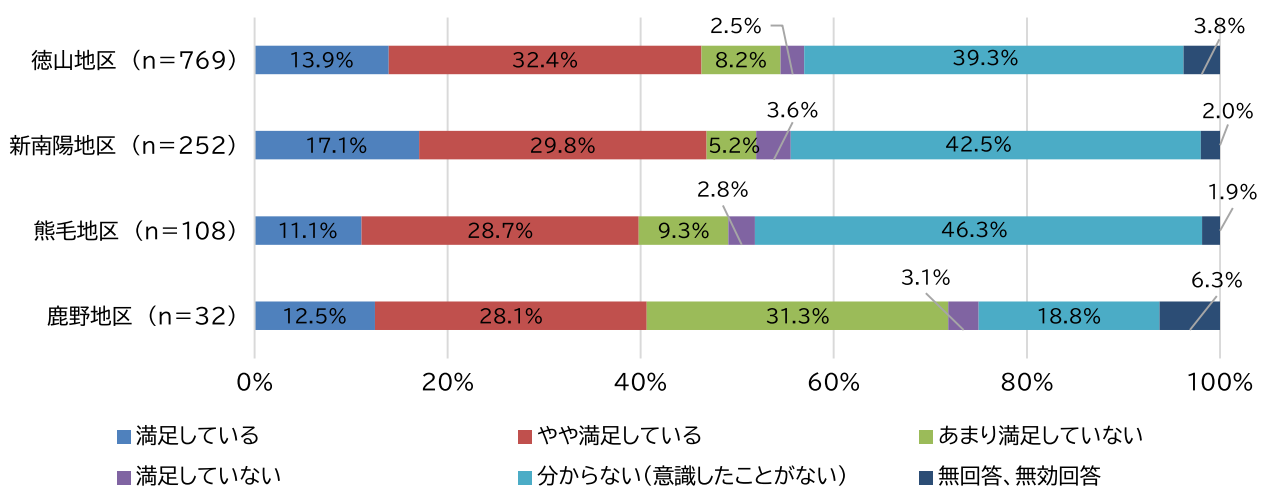
①.年齢別による比較（「お客様サービス向上への取り組み」の満足度）



年齢別による比較では、「満足している」、「やや満足している」をあわせた割合は、70歳以上が52.5%で最も多くなっており、概ね年齢層が上がるほど満足度が高くなる傾向がみられます。

「分からない(意識したことがない)」と回答した割合は、年齢層が下がるほど多くなる傾向がみられます。

②.旧行政区域別による比較（「お客様サービス向上への取り組み」の満足度）



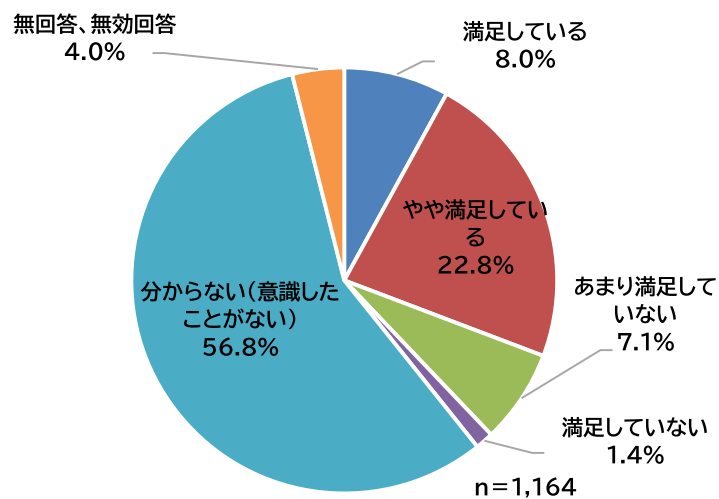
旧行政区域別による比較では、「満足している」、「やや満足している」をあわせた割合は、新南陽地区の46.9%が最も多く、「あまり満足していない」、「満足していない」をあわせた割合は、鹿野地区の34.4%が最も多くなっています。

⑤ 環境対策(CO2排出量の削減)への取り組み

(省エネルギー機器の導入など)

【単純集計】

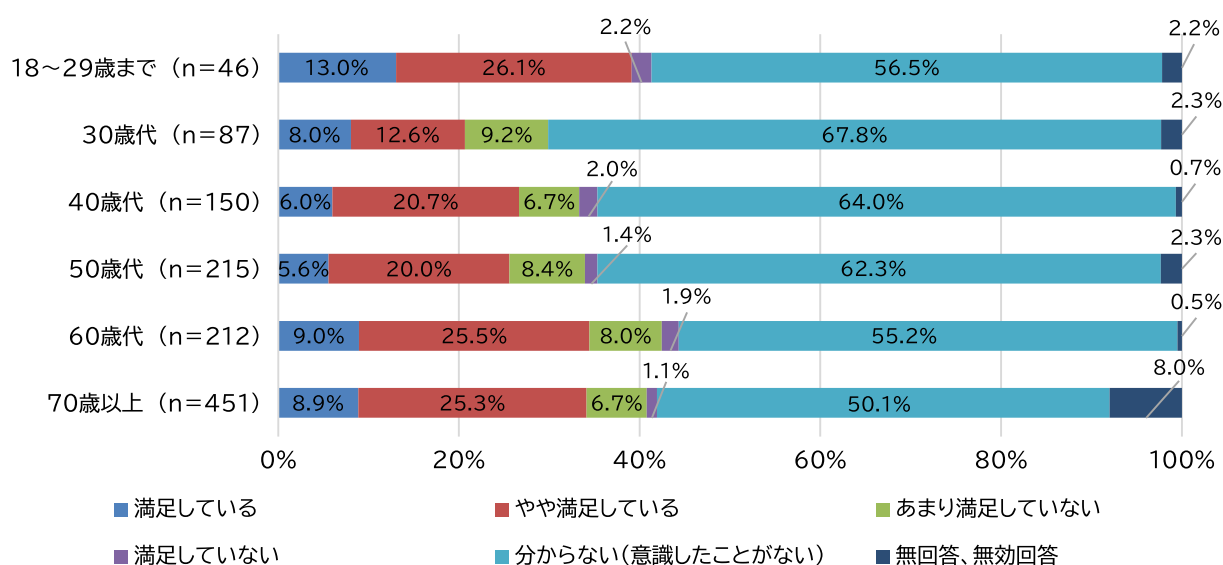
項 目	人数	割合
1. 満足している	93 人	8.0%
2. やや満足している	265 人	22.8%
3. あまり満足していない	83 人	7.1%
4. 満足していない	16 人	1.4%
5. 分からない(意識したことがない)	661 人	56.8%
無回答、無効回答	46 人	4.0%
計	1,164 人	100.1%



⑤の問いに対し、「満足している」、「やや満足している」をあわせた割合は、全体の30.8%を占めていますが、「分からない(意識したことがない)」の割合が56.8%で最も多くなっています。

【属性別集計】

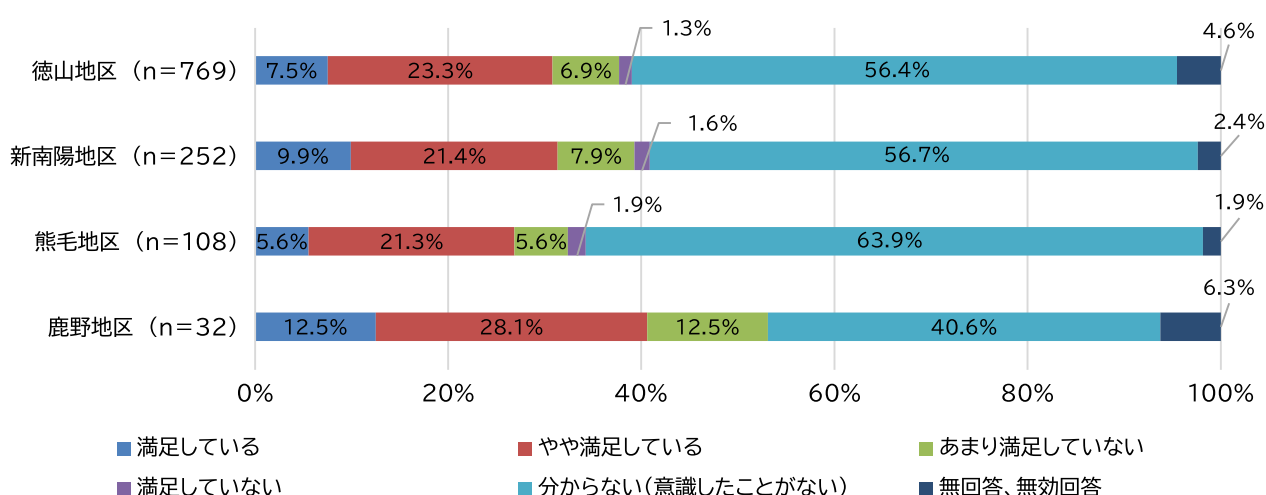
①.年齢別による比較（「環境対策(CO2排出量の削減)への取り組み」の満足度)



年齢別による比較では、「満足している」、「やや満足している」をあわせた割合は、18～29歳までが39.1%で最も多くなっています。

また、いずれの年齢層においても、「分からない(意識したことがない)」の割合が過半数を超えました。

②.旧行政区域別による比較（「環境対策(CO2排出量の削減)への取り組み」の満足度)



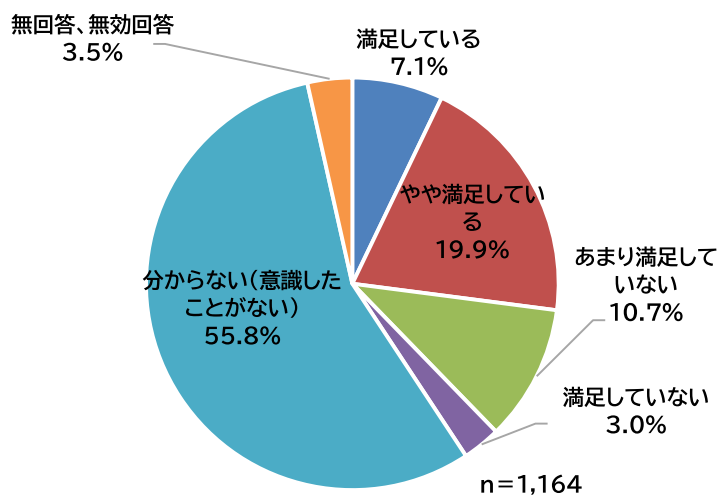
旧行政区域別による比較では、「満足している」、「やや満足している」をあわせた割合は、鹿野地区の40.6%が最も多く、次いで新南陽地区、徳山地区、熊毛地区の順になっています。

⑥ 効率的な事業の経営

(アセットマネジメントの取り組みや、財政状況の公表など)

【単純集計】

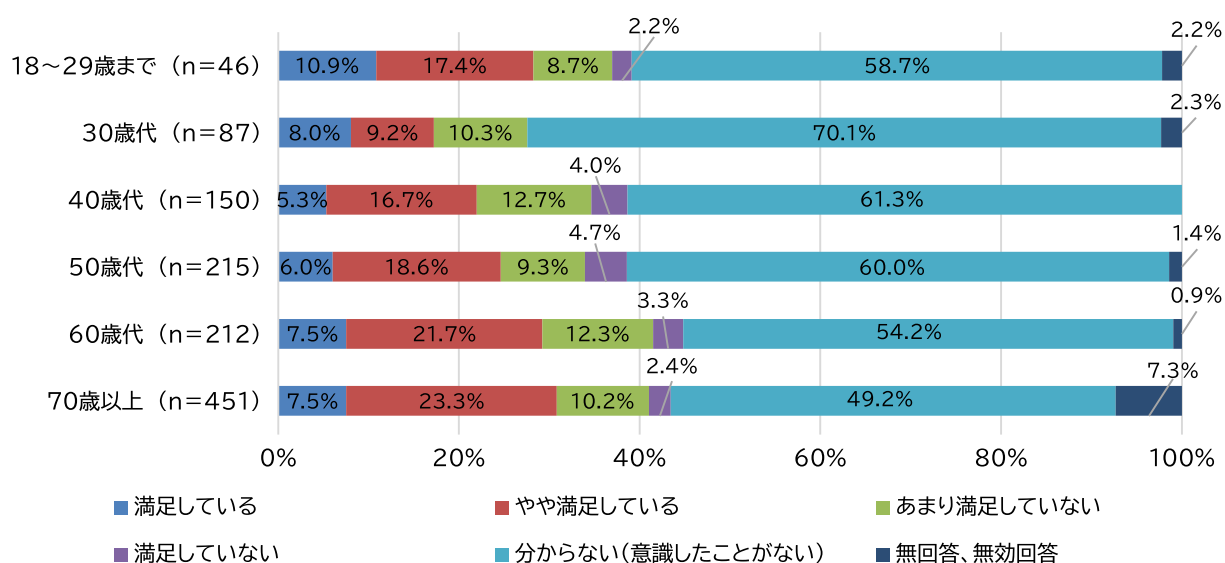
項 目	人数	割合
1. 満足している	83 人	7.1%
2. やや満足している	232 人	19.9%
3. あまり満足していない	124 人	10.7%
4. 満足していない	35 人	3.0%
5. 分からない(意識したことがない)	649 人	55.8%
無回答、無効回答	41 人	3.5%
計	1,164 人	100.0%



⑥の問いに対し、「満足している」、「やや満足している」をあわせた割合は、全体の27.0%を占めていますが、「分からない(意識したことがない)」の割合が55.8%で最も多くなっています。

【属性別集計】

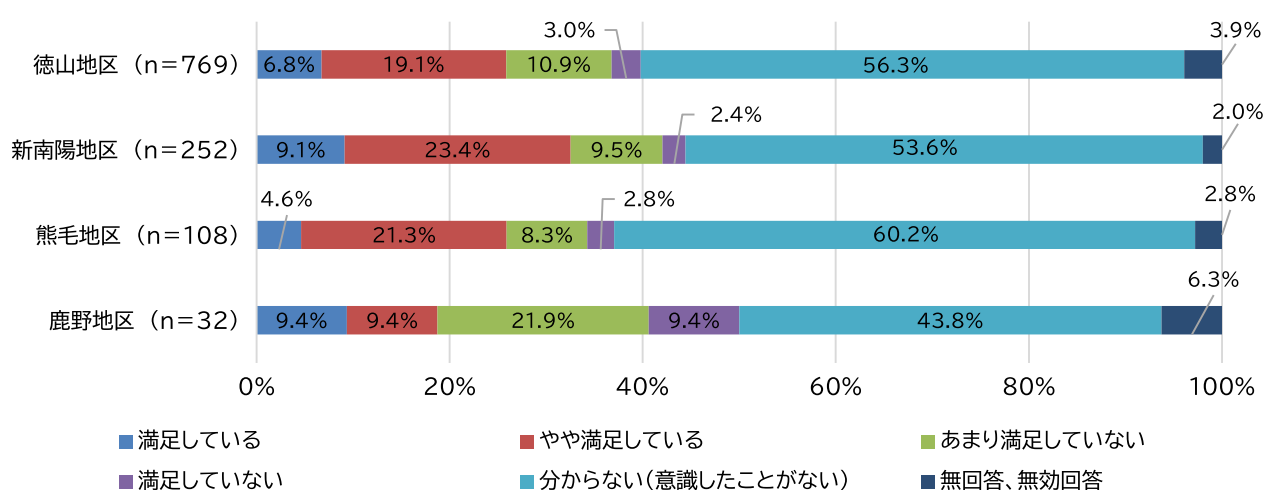
①.年齢別による比較（「効率的な事業の経営」の満足度）



年齢別による比較では、「満足している」、「やや満足している」をあわせた割合は、70歳以上が30.8%で最も多くなっており、概ね年齢層が上がるほど満足度が高くなる傾向がみられます。

また、いずれの年齢層においても「分からない(意識したことがない)」の割合が最も多くなっています。

②.旧行政区域別による比較（「効率的な事業の経営」の満足度）



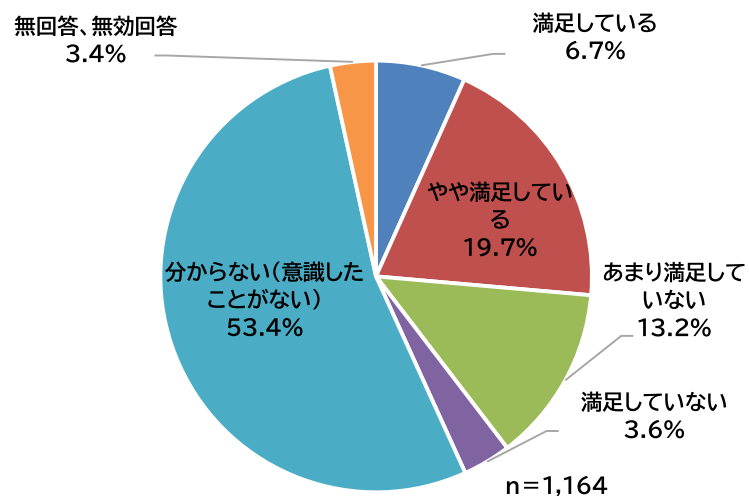
旧行政区域別による比較では、「満足している」、「やや満足している」をあわせた割合は、新南陽地区の32.5%が最も多く、「あまり満足していない」、「満足していない」をあわせた割合は、鹿野地区の31.3%が最も多くなっています。

⑦ 広報・イベント活動の充実

(水道に関する情報発信や、浄水場見学など)

【単純集計】

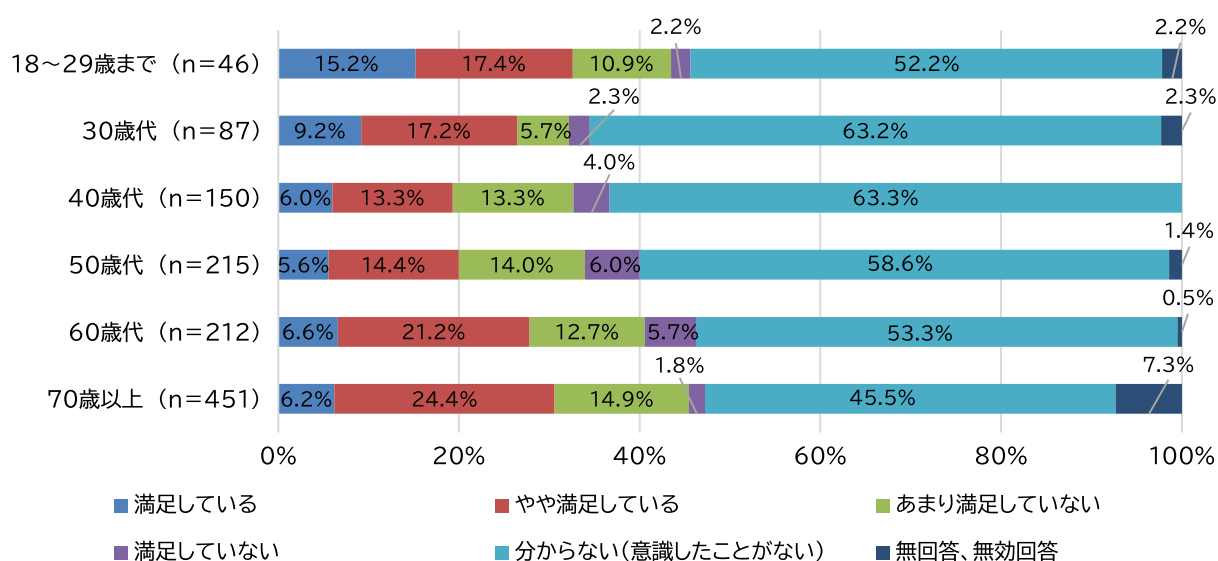
項 目	人数	割合
1. 満足している	78 人	6.7%
2. やや満足している	229 人	19.7%
3. あまり満足していない	154 人	13.2%
4. 満足していない	42 人	3.6%
5. 分からない(意識したことがない)	621 人	53.4%
無回答、無効回答	40 人	3.4%
計	1,164 人	100.0%



⑦の問いに対し、「満足している」、「やや満足している」をあわせた割合は、全体の26.4%を占めていますが、「分からない(意識したことがない)」の割合が53.4%で最も多くなっています。

【属性別集計】

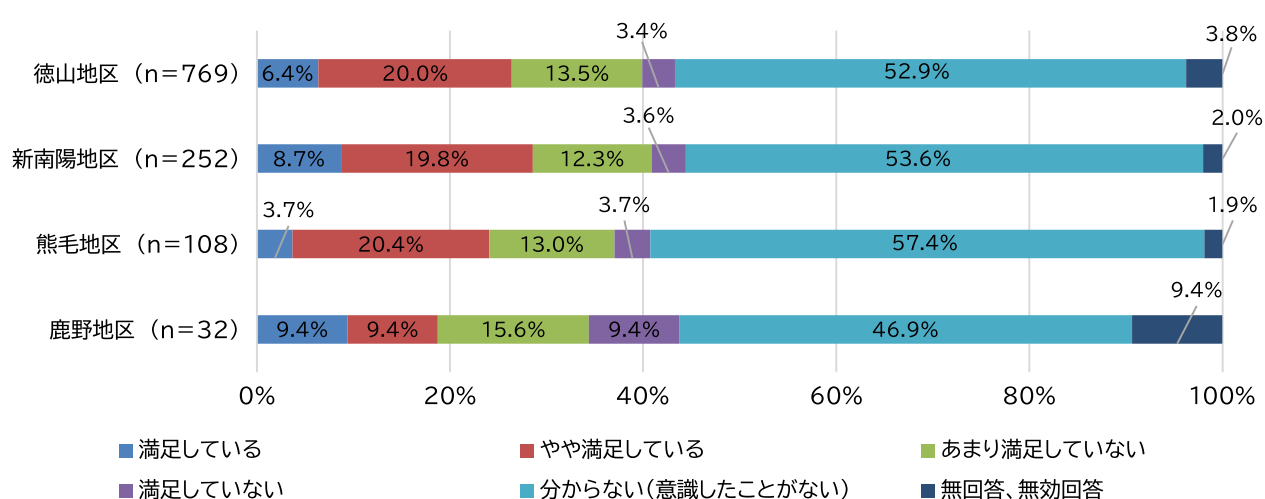
①.年齢別による比較（「広報・イベント活動の充実」の満足度）



年齢別による比較では、「満足している」、「やや満足している」をあわせた割合は、18～29歳までが 32.6% で最も多くなっています。

一方、「あまり満足していない」、「満足していない」をあわせた割合は、50歳代が 20.0% で最も多くなっています。

②.旧行政区域別による比較（「広報・イベント活動の充実」の満足度）



旧行政区域別による比較では、「満足している」、「やや満足している」をあわせた割合は、新南陽地区の 28.5% が最も多く、「あまり満足していない」、「満足していない」をあわせた割合は、鹿野地区の 25.0% が最も多くなっています。

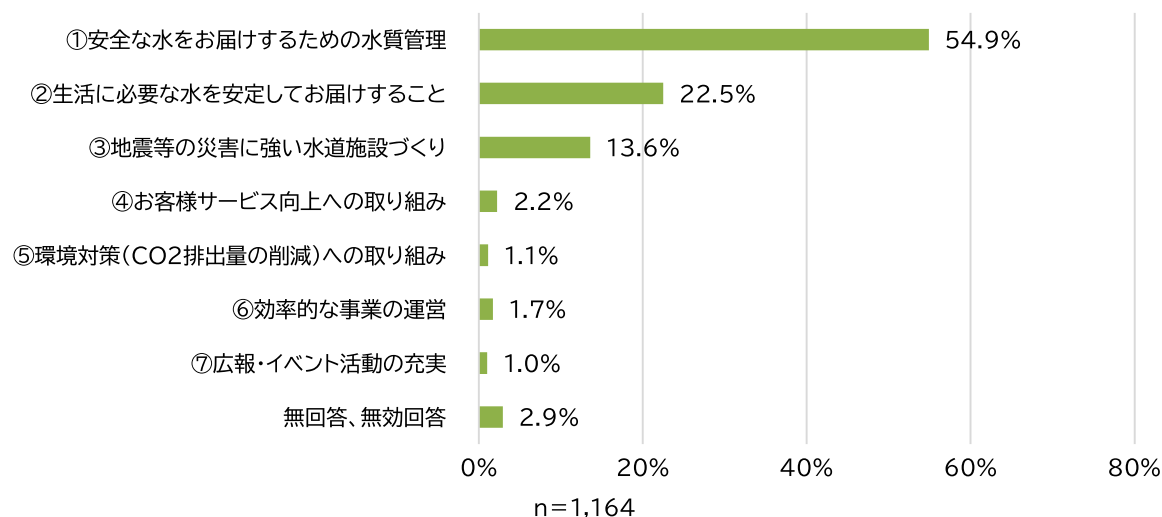
問7 上記①～⑦の事業・取り組みのうち、周南市上下水道局が今後、特に力を入れるべきと考えるものを3つ選び、順位をつけてお答えください。

①	安全な水をお届けするための水質管理 (水源、浄水場、じゃ口の水の水質管理の徹底など)
②	生活に必要な水を安定してお届けすること (老朽化した水道管や、施設の修繕・改築など)
③	地震等の災害に強い水道施設づくり (水道施設の耐震化や、計画的な更新など)
④	お客様サービス向上への取り組み (窓口対応や、水漏れなどのトラブルに伴う修繕対応など)
⑤	環境対策(CO2排出量の削減)への取り組み (省エネルギー機器の導入など)
⑥	効率的な事業の運営 (アセットマネジメントの取り組みや、財政状況の公表など)
⑦	広報・イベント活動の充実 (水道に関する情報発信や、浄水場見学など)

今後、特に力を入れるべきと考えるもの

1 位

【単純集計】

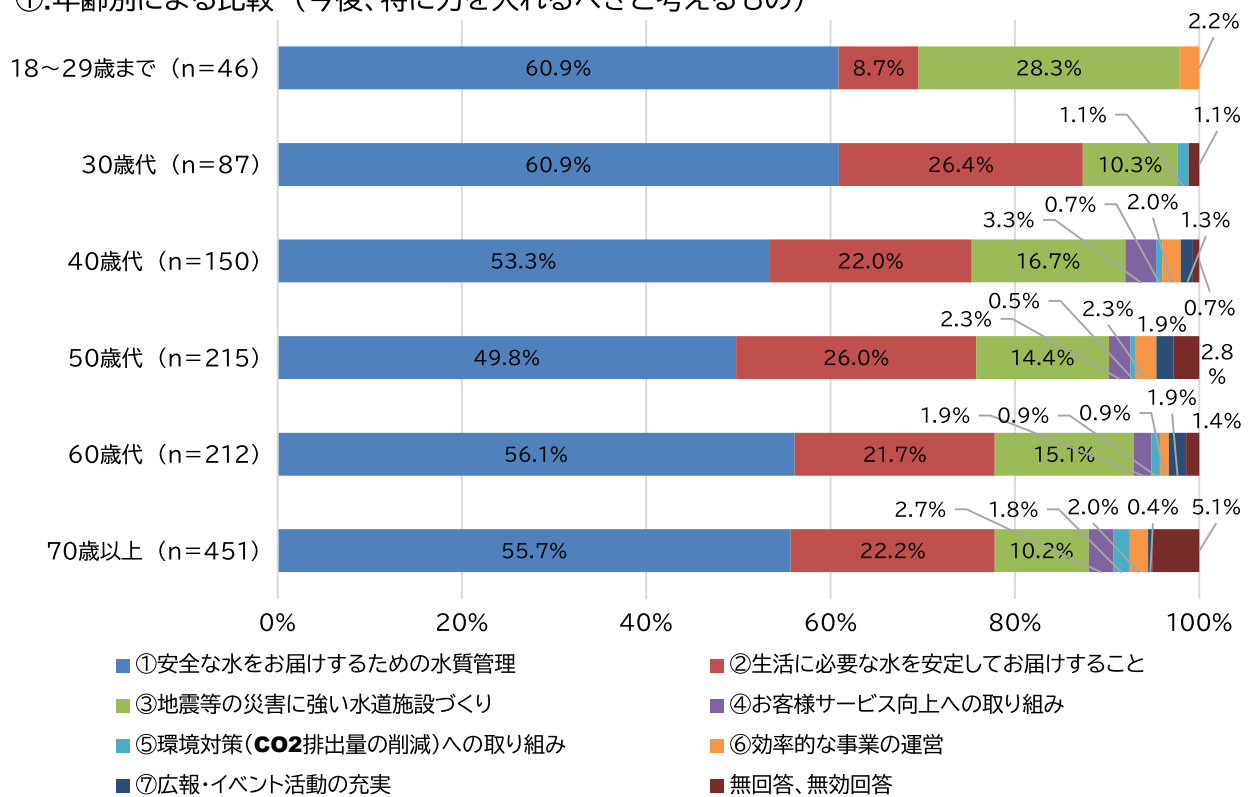


「①安全な水をお届けするための水質管理」の回答が 54.9% で最も多く、次いで「②生活に必要な水を安定してお届けすること」が 22.5%、「③地震等の災害に強い水道施設づくり」が 13.6% の順になっています。

1 位

【属性別集計】

①.年齢別による比較（今後、特に力を入れるべきと考えるもの）



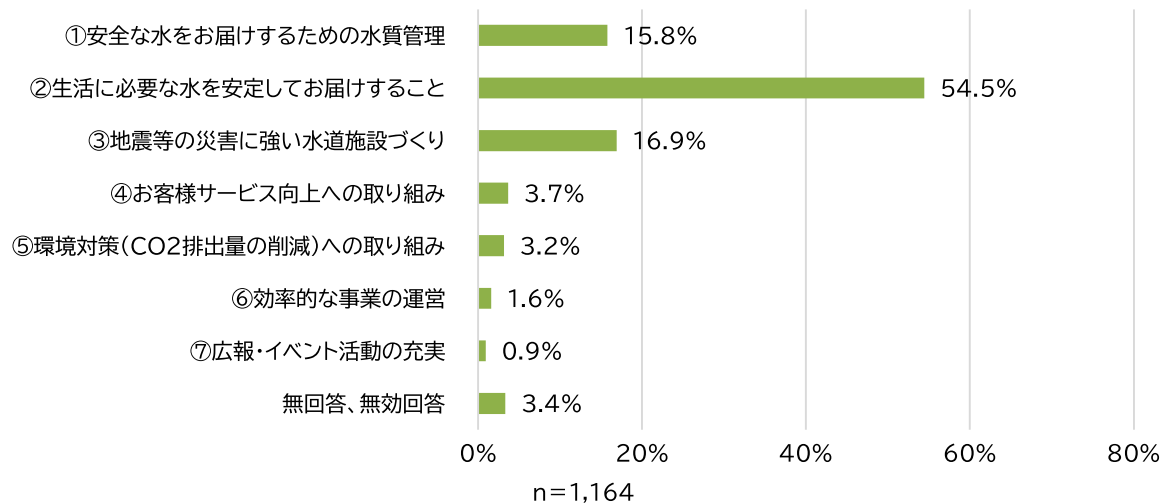
年齢別による比較では、いずれの年齢層も「①安全な水をお届けするための水質管理」の割合が最も多くなっています。

また、「③地震等の災害に強い水道施設づくり」については、18～29歳までの年齢層が他の年齢層に比べて割合が高く、関心の高さが窺えます。

今後、特に力を入れるべきと考えるもの

2 位

【単純集計】

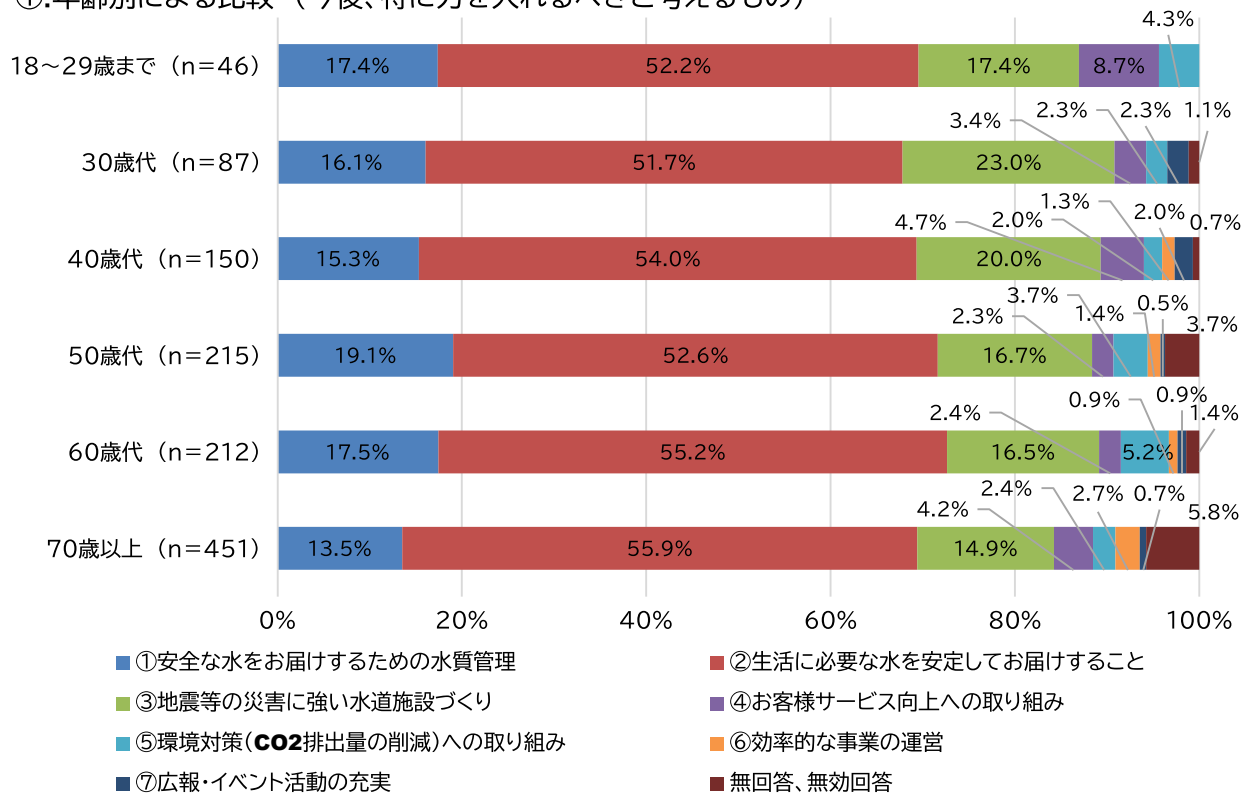


「②生活に必要な水を安定してお届けすること」の回答が 54.5% で最も多く、次いで「③地震等の災害に強い水道施設づくり」が 16.9%、「①安全な水をお届けするための水質管理」が 15.8% の順になっています。

2 位

【属性別集計】

①.年齢別による比較（今後、特に力を入れるべきと考えるもの）

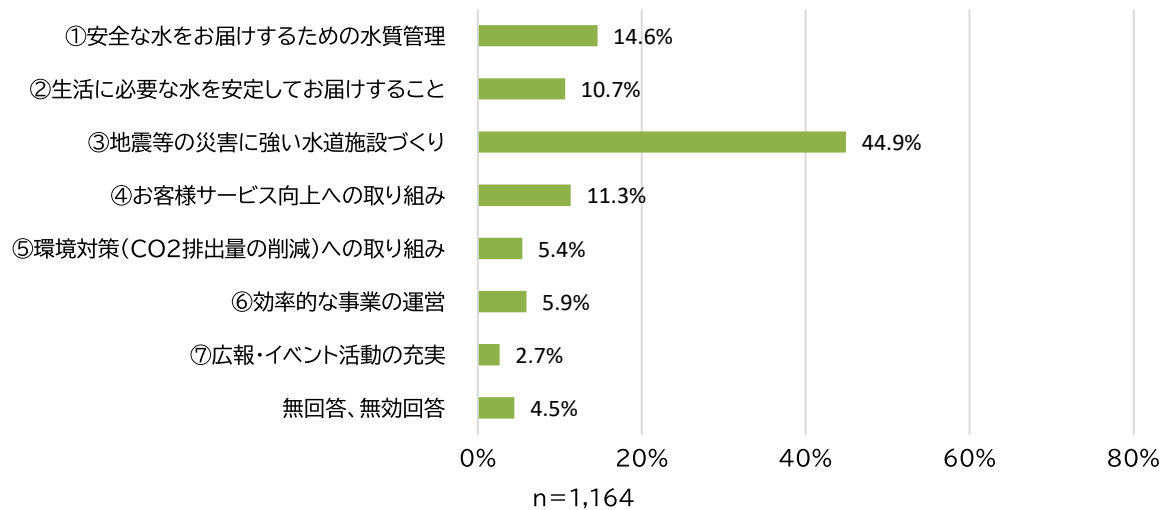


年齢別による比較では、いずれの年齢層も「②生活に必要な水を安定してお届けすること」の割合が最も多くなっています。

今後、特に力を入れるべきと考えるもの

3 位

【単純集計】

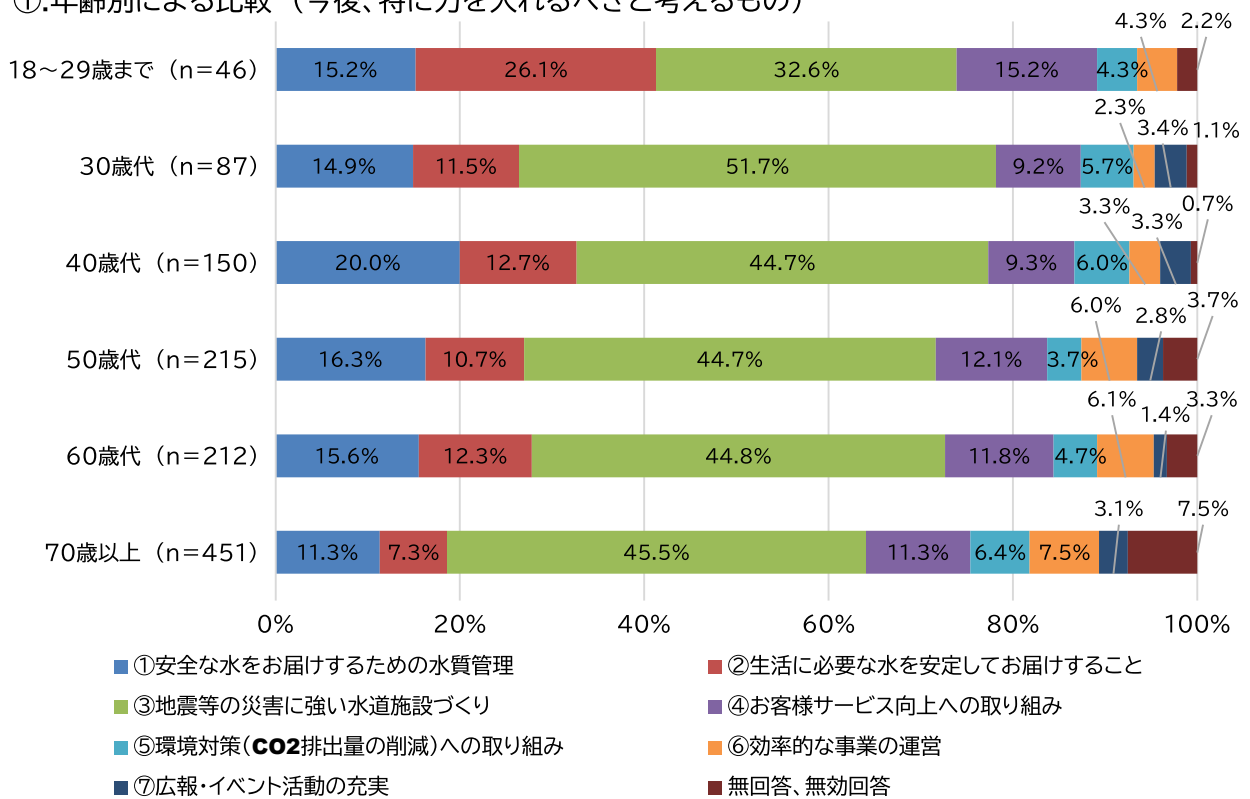


「③地震等の災害に強い水道施設づくり」の回答が 44.9% で最も多く、次いで「①安全な水をお届けするための水質管理」が 14.6%、「④お客様サービス向上への取り組み」が 11.3% の順になっています。

3 位

【属性別集計】

①.年齢別による比較（今後、特に力を入れるべきと考えるもの）



年齢別による比較では、いずれの年齢層も「③地震等の災害に強い水道施設づくり」の割合が最も多くなっています。